



年 組 名前

道新でワークシート

「東開サロン」福祉的配慮に評価

図書館と福祉拠点の機能を兼ね備えた苫小牧市東開町の東開文化交流サロンが、福祉的配慮に優れた対象者に贈られる本年度の「北海道福祉のまちづくり賞」を公共的施設部門で受賞した。障害の有無や子連れか否かを問わず、さまざまな人の居場所になりうる空間をデザインした点が高く評価された。

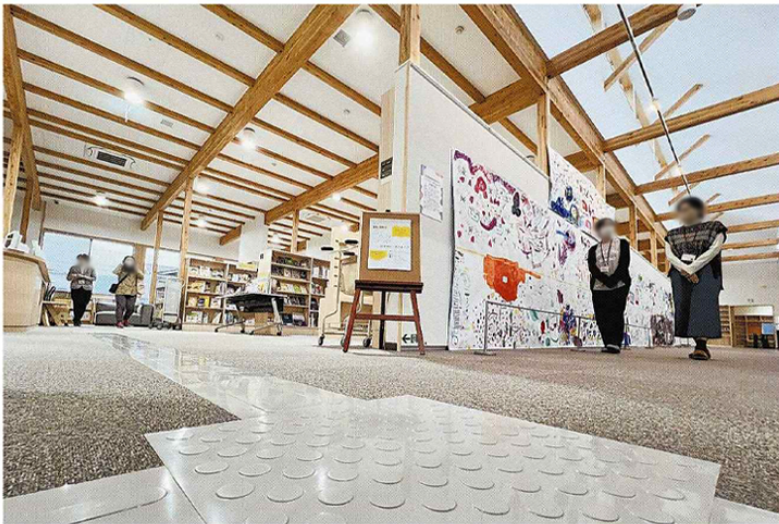
道のまちづくり賞受賞

北海道福祉のまちづくり表彰はハードとソフトの両面でバリアフリー化を目指す北海道福祉のまちづくり条例が施行された1998年に創設。現在は公共的施設などの整備、障害者・高齢者らの社会参加の支援活動、福祉用具の製作の3部門で表彰し、苫小牧市内からの受賞は8件目。

同サロンは市が昨年12月に開設し、渡辺建築設計(苫小牧)が設計した。多様な人への配慮が表れた特徴の一つが、当事者団体の意見を踏まえ館内の通路に設けた、突起の高さが1ミで通常より低い点字ブロックだ。視覚障害者が認識できる作りでありつつ、ベビーカーや車いすが通りやすく、高齢者らがつまずきにくいという。

また、図書室も話し声や赤ちゃんの泣き声に寛容で、どんな人にも開かれた空間になっており、開館中

苫小牧 点字ブロックや来館者見守り



突起が低い点字ブロックなどバリアフリーの工夫をこらした東開文化交流サロン

は常駐する「見守り支援員」が来館者の話し相手になる。池田圭吾館長は「ハード面だけでなくソフト面の取り組みも評価され、うれしく思う」と話す。

本年度中に約3千冊増やし計2万8千冊になる予定の蔵書は、文字を読みづらい人のための大活字本や、主に障害者の芸術として知られるアール・ブリュット(小野聡子)の書籍も豊富で、図書室の富田歩美・統括責任者は「今後も選書で福祉の特色を出したい」と意気込む。

本年度の同賞の公共的施設部門は、オホーツク管内の遠軽町芸術文化交流プラザも受賞。胆振・日高管内からの選出は、3部門を通じ東開文化交流サロンだけだった。

2023年11月14日(火) 朝刊 苫小牧・日高版 14ページ (記事は再編集しています)

(1) 苫小牧市の東開文化交流サロンが「北海道福祉のまちづくり賞」を受賞したのは、どうしてですか。

(2) あなたは、「誰もが住みやすいまちづくり」のために、どのような取組が必要だと思いますか。アイデアを考えましょう。

①どこに ②どのような人やものを ③その理由